

教育研究業績書

令和5年5月1日

氏名 浦田 洋 印

教育上の能力に関する事項

事項	年月	概要
1 教育方法の実践例	令和3年4月	対面授業の中で、適宜、Microsoft Teams を用いた質疑応答を行い、双方向のコミュニケーションを行っている。また、オフィスアワー及びメール、Teams にて学生からの相談を随時受け付けている。
2 作成した教科書・教材	令和2年4月 令和4年10月	心理アセスメントの理論と実践（岩崎学術出版社） 公認心理師ベーシック講座「司法・犯罪心理学」（講談社） 以上の著書の内容を、講義内で随時紹介している。
3 教育上の能力に関する大学等の評価		特記事項なし
4 実務の経験を有する者についての特記事項	令和元年12月 令和2年7月 令和2年11月 令和3年7月 令和3年11月 令和4年3月 令和4年3月 令和4年5月 令和4年6月 令和4年7月 令和4年11月 令和4年11月 令和4年12月 令和4年12月 令和5年2月	兵庫県立宝塚高等学校2年生を対象とした大学講義体験授業（心理学）の講師を務めた。 兵庫県立西宮北高等学校1年生を対象とした大学講義体験授業（心理学）の講師を務めた。 兵庫県立伊丹西高等学校2年生を対象とした法教育の講師を務めた。 兵庫県立川西北稜高等学校2年生を対象とした大学講義体験授業（心理学）の講師を務めた。 大阪府立牧野高等学校1年生を対象とした職業人講話の講師を務めた。 兵庫県立尼崎北高等学校1年生を対象とした職業人講話の講師を務めた 私立百合学院高等学校1・2年生を対象とした大学講義体験授業（心理学）の講師を務めた。 兵庫県立明石西高等学校2年生を対象とした大学講義体験授業（成年年齢引下げと非行・犯罪との関係）の講師を務めた。 大阪府立泉大津高等学校2年生を対象とした大学講義体験授業（心理学）の講師を務めた。 大阪府立市岡高等学校2年生を対象とした大学講義体験授業（心理学）の講師を務めた。 姫路市立琴丘高等学校2年生を対象とした大学講義体験授業（心理学）の講師を務めた。 兵庫県立姫路商業高等学校1・2年生を対象とした大学講義体験授業（心理学）の講師を務めた。 兵庫県立神戸北高等学校2年生を対象とした大学講義体験授業（心理学）の講師を務めた。 姫路市立飾磨高等学校2年生を対象とした大学講義体験授業（心理学）の講師を務めた。 兵庫県立芦屋高等学校1年生を対象とした課題研究発表会（心理学）の審査員を務めた。

様式第4号（教員個人に関する書類）

5 その他	令和元年9月～ 令和2年2月～ 令和4年2月	甲子園大学夏のオープンキャンパスで、犯罪心理学に関するミニ講義（毎年8月か9月） 甲子園大学公開講座で、一般市民を対象とした犯罪心理学についてのミニ講義（毎年2月）
職務上の実績に関する事項		
事項	年 月	概要
1 資格、免許	平成6年3月 平成31年2月	臨床心理士（資格登録番号：3808） 公認心理師（登録番号：1390）
2 学校現場等での実務経験	34年	法務省矯正局に属する矯正施設等での心理技官を務めた。
3 実務の経験を有する者についての特記事項	平成22年3月 平成25年12月 平成26年8月 平成26年12月 平成28年3月 平成28年6月 平成30年1月 平成30年11月 平成19年6月 平成20年6月 平成24年7月 令和元年11月 令和元年12月 令和4年9月	[心理検査TATの分析・解釈等についての講義・演習] 矯正研修所科調査鑑別特別科研修「TATによる人格理解」講師を務めた（～平成24年、年1回） 矯正研修所応用科研修「TAT演習」講師を務めた（～令和元年、年1回） 大阪少年鑑別所ワークショップ「児相職員と司法・矯正職員によるTATワークショップ」講師を務めた 矯正研修所福岡支所専攻科研修「TAT解釈の実際」講師を務めた 愛知法務少年支援センター（名古屋少年鑑別所）「心理アセスメント（TAT）勉強会」講師を務めた 岐阜法務少年支援センター（岐阜少年鑑別所）「TAT演習」講師を務めた 矯正研修所名古屋支所専攻科研修「TAT演習」講師を務めた 中京大学パーソナリティ研究会第150回大会コメンテーター [性犯罪者処遇プログラムの開発・応用等についての講義・演習] 矯正研修所改善指導科研修「指導職員への援助方法」講師を務めた 矯正研修所改善指導科研修「海外の性犯罪者処遇の動向」講師を務めた 矯正研修所改善指導科研修「指導者のメンタルヘルス」講師を務めた 公認心理師の会研修会「矯正処遇における心理学的アプローチとエビデンス」講師を務めた 兵庫県臨床心理士会2019年度第1回司法・法務・警察領域研修会「海外の性犯罪者の査定と処遇の動向」講師を務めた 福岡地方裁判所裁判員裁判における情状鑑定を担当した。
4 その他		特記事項なし

様式第4号（教員個人に関する書類）

担当授業科目に関する研究業績等						
担当授業科目	著書、学術論文等の名称	単著 共著	発行年月	出版社又は発行雑誌等の名称	執筆ページ数 (総ページ数)	概要
非行臨床と司法の基礎・犯罪心理学	(著書) 1. 犯罪心理学事典 (2項目分執筆)	共	平成28年 9月	丸善出版	6 (864)	<p>従来の犯罪者処遇に、ポジティブ心理学の考え方を導入したものがグッド・ライブス・モデル（GLM）で、従来の禁止や回避を伴う処遇の限界を考慮して、犯罪者自身が達成したいと考える接近型の目標を取入れている。GLMを適切に処遇に応用するには四つの段階の査定が必要である。最近、犯罪学の領域で発展した離脱研究を統合したモデルが提唱されている。</p> <p>（執筆担当部分：施設内処遇におけるグッド・ライブズ・モデル） 村松励，<u>浦田洋</u>ほか249名</p> <p>社会構成主義を理論的基礎に持つナラティブ・セラピーは、もともと家族療法の領域で発展してきたものであるが、昨今、犯罪者処遇に応用した研究も行われている。これは少年鑑別所で少年に行っている面接にも応用できるが、対象者の法的立場を踏まえると、ドミナントストーリーの書き換えまではできず、それは少年院で実施することになる。</p> <p>（執筆担当部分：ナラティブ・セラピー） 村松励，<u>浦田洋</u>ほか249名</p>
	2. 児童青年の発達と「性」の問題への理解と支援	共	令和元年 7月	福村出版	5 (168)	<p>かつて性加害を行ったことのある児童・青年が同様の事犯で再犯を起ささないためのスキルとして、周りに援助を求めることや、自分の気持ちを表現すること、自分なりのリラックス法を実践することなどを提案した。</p> <p>（執筆担当部分：性加害の再犯を予防するために必要な対処スキル） 藤田絵理子，<u>浦田洋</u>ほか55名</p> <p>性加害者が起こしやすい典型的な認知の歪みを例示し、加えて、感情が高ぶった時の統制法として、リラクゼーションや呼吸法の概要を紹介した。</p> <p>（執筆担当部分：性に関する認知の歪</p>

様式第4号（教員個人に関する書類）

						<p>み・感情コントロールの支援) 藤田絵理子, 浦田洋ほか 55名</p> <p>性加害者を支援する際に支援者にかかりやすい負担の種類とその概要を説明し, 加えて, 負担を感じた際の対処の在り方を提案した。 (執筆担当部分:性加害者支援の注意点) 藤田絵理子, 浦田洋ほか 55名</p> <p>心理アセスメントの「理論」から公認心理師5領域での総合的な「実践」までを解説した書籍の中の実践編で架空例を交えてわかりやすく解説した。 (執筆担当部分:司法犯罪領域) 高瀬由嗣, 浦田洋ほか10名</p>
	3. 心理アセスメントの理論と実際	共	令和2年 4月	岩崎学術出版社	12 (372)	
	4. 公認心理師ベーシック講座「司法・犯罪心理学」	共	令和4年 10月	講談社	43 (265)	<p>公認心理師課程の「司法・犯罪心理学」向けの教科書で, 一般社団法人公認心理師の会「司法・犯罪・嗜癖部会」の委員が中心に執筆した。 (執筆担当部分:少年司法・施設内処遇) 原田隆之, 浦田洋ほか13名</p>
	(学術論文等) 1. ブラインドアナリシスの可能性	単	平成24年 11月	中京大学心理学研究科・心理学部紀要 第12巻第1号	20	<p>平成22年に亡くなった, 我が国のTAT研究の第一人者である中京大学鈴木睦夫教授の追悼号に掲載した論文。鈴木教授が生涯通じて追いつけた, 犯罪者の査定によく活用されるTATという心理検査の検査としての独立性の担保というテーマを筆者なりに実践するために, TATをブラインドで解釈し, それを, 鈴木教授が生前に実施していた解釈と照らし合わせて, 筆者の解釈の在り方の問題を確認した。加えて, 同じ被験者に実施したSCTを解釈して, TATの解釈を補強した。</p>
	2. 司法領域におけるTATの活用	単	平成31年 3月	中京大学心理学研究科・心理学部紀要 第18巻第1号	4	<p>司法・犯罪領域においては, 以前から投映法が盛んに活用されてきたが, 投映法のうちTATに焦点を当て, その活用の歴史や背景事情を説明し, 加えて, 今後の活用に係る課題等について提言した。</p>

様式第4号 (教員個人に関する書類)

<p>3. T A T 図版の選択についての一考察</p> <p>4. TAT過程の力動 - 精神的及び精神病的観点【海外文献紹介】</p> <p>5. ロールシャッハ100年記念大会マップ・プロジェクト中間報告【寄稿】</p> <p>6. 主題統覚検査における対人脱中心化と、人-状況の交互作用:それらは図版の中に全てあるのか?どのような物語か?【書評】</p> <p>7. 刑事司法で働く女性-専門家の問題を解決へと導くガイドブック -</p> <p>(その他) D・リチャード・ローズ, トニー・ウォード 性犯罪からの離脱-「良き人生モデル」がひらく可能性 (翻訳)</p>	<p>単</p> <p>単</p> <p>共</p> <p>単</p> <p>単</p> <p>共</p>	<p>令和2年3月</p> <p>令和2年10月</p> <p>令和2年10月</p> <p>令和3年3月</p> <p>令和4年3月</p> <p>平成26年7月</p>	<p>甲子園大学紀要, 第47巻</p> <p>包括システムによる日本ロールシャッハ学会誌第24巻第1号</p> <p>包括システムによる日本ロールシャッハ学会誌第24巻第1号</p> <p>甲子園大学紀要, 第48巻</p> <p>甲子園大学紀要, 第49巻</p> <p>日本評論社</p>	<p>5</p> <p>11</p> <p>7</p> <p>3</p> <p>12</p> <p>36 (379)</p>	<p>数度の改正を経て現行に至った図版セットの歴史と、実務でどの図版を使用するかという図版の2つの「選択」について解説した。</p> <p>TATの分析解釈において、独自の精神分析的アプローチを行う「フランス学派」の理論等が掲載された文献を紹介した。</p> <p>国際ロールシャッハ学会100年記念大会で、ロールシャッハ図版の世界への伝播を発表するために結成されたプロジェクトチームの作業の進捗状況を説明した。 (共同執筆者, 渡邊悟, 浦田洋ほか8名)</p> <p>従来の発達理論を応用したTATプロトコルの解釈アプローチについて紹介した。</p> <p>カナダの民間組織で、犯罪者や非行少年を治療する2人の治療家が、自分たちの仕事に係る女性特有の種々の困難さを指摘し、また、それらをいかに克服するかについて検討した書籍を紹介した。</p> <p>ポジティブ心理学の考え方を取入れた新たな性犯罪者処遇の在り方である「良き人生モデル」に元々犯罪学の概念である「離脱」を取入れた、「良き人生-離脱モデル」による性犯罪者の査定における、良き人生プランの5つの段階を説明する。加えて、再犯リスクの大きさが異なる3つの事例を使って、上記プランの策定の仕方を例示する。 (翻訳担当部分: 第15章 良き人生-離脱モデル) 翻訳者; 津富宏, 浦田洋ほか8名</p>
--	---	--	---	--	---